

第2回ロボット革命実現会議 議事概要

日時:平成 26 年 10 月 21 日(火)10:00~12:00

場所:内閣府 4 号館 416 会議室

- 出席者:池 史彦 本田技研工業株式会社 代表取締役会長
石川 公也 社会福祉法人シルヴァーウイング 常務理事
小田 真弓 株式会社加賀屋 女将
笠原 節夫 有限会社横浜ファーム 代表取締役
菊池 功 株式会社菊池製作所 代表取締役社長
黒岩 祐治 神奈川県知事
白石 真澄 関西大学政策創造学部 教授
杉原 素子 社会福祉法人邦友会 新宿けやき園 施設長
野路 國夫 株式会社小松製作所 代表取締役会長
(座長)野間口 有 三菱電機株式会社 相談役
橋本 和仁 総合科学技術・イノベーション会議議員
(東京大学大学院工学系研究科 教授)
安田 定明 株式会社武蔵野 代表取締役会長
吉崎 航 アスラテック株式会社 チーフロボットクリエイター
- 欠席者:新井 紀子 国立情報学研究所 社会共有知研究センター長
斎藤 保 株式会社IHI 代表取締役社長 最高経営責任者
諏訪 貴子 ダイヤ精機株式会社 代表取締役
津田 純嗣 株式会社安川電機 代表取締役会長兼社長

1. 開会

2. ロボット活用に係る分野別検討①(サービス)

○資料2-1に沿って、経済産業省からサービス分野のロボット活用について説明。

○外部からのゲストスピーカーによるプレゼンテーションが行われた。

- 資料1-1 物流に利用されているロボット現状と発展
株式会社ダイフク 技監 辻本方則氏
- 資料1-2 サービスロボットを活用した超高齢社会の新サービス産業の創出
大阪工業大学工学部ロボット工学科 教授 本田幸夫氏
- 資料1-3 サービスドミナントなロボット革命を
産業戦略研究所代表・株式会社 NTTドコモ独立取締役 村上輝康氏

○資料2-2に沿って、白石委員からサービス分野におけるロボット活用に係る論点について説明。

3. ロボット活用に係る分野別検討②(介護・医療)

○資料3-1に沿って、厚生労働省、経済産業省、総務省及び内閣府から介護分野におけるロボット活用について説明。

○資料4-1に沿って、厚生労働省及び経済産業省から医療分野におけるロボット活用について説明。

○資料1-4に沿って、石川委員から説明。

○資料1-5に沿って、杉原委員から説明。

○資料3-2及び資料4-2に沿って、白石委員から介護分野及び医療分野におけるロボット活用に係る論点について説明。

○委員から発言があった主な意見は下記のとおり。

- リハビリテーション用ロボットの実証実験を行っているが、薬事法対象外の介護補助器具であることから診療報酬が得られず、全て医療機関の持ち出しで対応いただいている。
- 介護保険の対象となれば 9 割の補助ができるが、日本は 3 年刻みで認定が行われるため、機会を逃すと 3 年間待たなければならない。その間にもウェイティングリストが溜まっていくため、新参者が一回で認定されることはないという現場の声を聞いている。
- デンマークでも実証試験を実施しているが、現状では欧州のCEマーク、米国のFDAなど、欧米で認証を申請したほうが早い。CEマークを取得すると、日本の医療機関も使用を前向きに検討してくれるようになる。これが日本の認定制度の現状。

4. 閉会

以上